

# 星総合病院 認知症疾患医療センターだより

## 第3回 事例検討会開催

平成28年3月18日（金）  
第3回事例検討会を開催しました

### 事例検討会の目的

平成27年10月より郡山市内で3チームの認知症初期集中支援チームが活動を行っていることから、活動状況を通して認知症初期集中支援チームについての理解を深めると共に、今後の認知症施策や連携の在り方等について検討する。

### 参加者

- 各医療機関
  - 各地域包括支援センター
  - 各施設 等
- 計 137名



### 事例提供者

#### ○あさかホスピタル 認知症初期集中支援チーム 『認知症初期集中支援チーム～困難事例から得られた課題～』

**当チームの紹介**

★ 郡山市南東部エリア担当  
安積/田村/郡山東部・中田/三穂田/芳賀小原田

高齢化率：24.15%（郡山市全体23.22%）  
人口：97,835名 高齢者数：23,625名  
（H27.3.1時点）

★ 専門職  
医師2名  
看護師2名、精神保健福祉士2名  
作業療法士2名、介護福祉士1名

アウトリーチの際は原則2名以上で伺うこと。

世帯員に精神障害者が存在。暴力行為による虐待が疑われ、また、他者による金銭搾取等が明らかになったケース。

⇒他職種、関係機関がケア会議等を通じ、連携により問題解決を図った。



#### ○針生ヶ丘病院 認知症初期集中支援チーム 『活動の概要および活動状況』

**チーム概要**

- 対象エリア：郡山中央部圏域。
- チーム構成：認知症サポート医1名、医師2名、看護師3名、精神保健福祉士3名（全員が病院業務と兼務）
- 合同会議（事例報告・情報交換など）圏域の6ヶ所の地域包括支援センターと郡山市地域包括ケア推進課で月1回開催。
- チームミーティング週1回開催。
- チーム員会議日は不定期。対象者、関係者の状況に合わせて調整のうえ決定。

※ H27年10月～H28年2月までの支援件数18件

本人はBPSD、介護サービスの利用に抵抗あり。生活全般に介護を要する状態。体調の悪い夫が介護。長男が通いで支援し、身体・精神的に不調あり。介護力が大きく変わる可能性があったケース。

⇒地域包括支援センター、ケアマネジャーと相談し、入院治療へとつなげた。

## ○星ヶ丘病院 認知症初期集中支援チーム 『認知症初期集中支援チームの取り組みについて』

同居している姪が、本人の年金を使い込んでいる。難聴があるため、コミュニケーションもうまくいかず、介護も十分に受けられていない等の問題あり。

⇒働いていない姪自身の自立も含め、地域包括支援センターを中心に関わり、地域で世帯を支える仕組み作りを行った。



### 意見交換会

- ・ 関連機関とチームで情報を共有化して、連携することができたので良かった。
- ・ ケアマネジャーと包括、チーム員が協力して症例との関係性をつくり、受診につなぐことが出来た。しかし、治療して退院した後、包括と地域の方の協力が必要となる。
- ・ 今回の事例は比較的スムーズに上手くいったケースであるが、星ヶ丘病院でも他の病院と同じように困難なケースが多い。早期の段階から、地域が本人と関わりを持っていることが大切である。
- ・ 本人が受診を拒否し、介護保険の導入が難しいケースもあり、チームの介入が必要となることもある。また、開業医の先生がチームの役割を理解されていないこともあり、啓蒙活動が必要である。



認知症初期集中支援チームが、開業医との連携の糸口になりたいと考える。

### ☆感謝状をいただきました☆

平成28年1月30日、砂防会館別館シェーン・バッハ・サボーにて全国キャラバン・メイト連絡協議会主催の表彰式が行われ、星総合病院佐藤美重総看護師長が、認知症サポーター養成講座開催回数上位5名に贈られるキャラバン・メイト感謝状を授与されました。

これからも認知症サポーター、キャラバンメイトの育成に力を入れ、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて活動してまいります。



※上記に関するお問い合わせは下記までお願いします。

**星総合病院 認知症疾患医療センター**

**専用電話：024-983-5529**

【相談日時】

月曜日から土曜日 午前9時～午後5時

(木曜日の午後・第3木曜全日・日曜・祝日・年末年始を除く)

【ホームページ】[星総合病院 認知症疾患医療センター](#) click!